【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第３区分
【発行日】平成24年11月15日(2012.11.15)

【公表番号】特表2008-515653(P2008-515653A)
【公表日】平成20年5月15日(2008.5.15)
【年通号数】公開・登録公報2008-019
【出願番号】特願2007-535949(P2007-535949)
【国際特許分類】
Ｂ２６Ｄ　1/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２６Ｄ　1/08

【誤訳訂正書】
【提出日】平成24年9月21日(2012.9.21)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３８】
磁気材料の駆動による前進は、回転動作により最も有効に発生する。装置のプロセスに電気モータを組み合わせると、駆動ローラを間欠的に前進回転させることができる。気圧式の場合、往復運動する回転アクチュエータによる駆動が可能となり、駆動ローラを逆回転させることなくアクチュエータを初期位置に戻せるようにするには、前進駆動、反転不能のクラッチベアリングを駆動ローラに組み込むことが必要となる。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４６】
ガイドチャネルの出口端部２３において、磁気材料１２が粘着性裏紙２４と分離される。この紙２４は下側に剥離され今まで移動してきたガイドチャネル１５の下に所定の角度で引き戻され、駆動ローラ２５とピンチローラ２６の間に供給される。駆動ローラ２５が回転作動すると、紙がこれとピンチローラ２６の間で引っ張られ、その結果磁気材料１２がロール１３から繰り出されてガイドチャネル１５に沿って進む。この磁気材料１２は自立するのに十分な弾力を有し、間欠的に前進するか停止具２９に当たるまで、必要な長さだけ支持ガイドチャネル１５から外側２８に、下側剪断刃１８の上に延在する。その後これが上の前記水平プレート１９の縁であって下降剪断動作において上側剪断刃を形成する縁によりカットされる。この装置は、磁気材料粘着裏紙２４の強さを利用して、裏紙２４のみを引っ張ることにより、材料１２をロール１３から繰り出し装置内部へ供給している。ロール１３から必要な部分３１を切り取ったら、装置は各カット部分３２がカット後に連続的な下向きの移動３４により磁気により部分３２をカットしたままの位置で移動させ、下側に粘着材を有する磁気部分３１を介して広告カードストック３５の上に圧力をかけ、粘着剤を接着させる。この線形アクチュエータラム２１の移動は反転し（３４）、たった今磁気部分をスタック３６の一番上に取り付けたものから離れて上昇する。線形アクチュエータラム２１が完全に上昇すると、装置はリセットされこのプロセスを繰り返す用意が整う。駆動ローラ２５が前後の往復運動回転アクチュエータにより駆動される場合、駆動ローラを逆回転させずにアクチュエータを初期位置に戻すには、前進運動２７・反転不

能３８のクラッチベアリング３９を駆動ローラ２５に組み込む必要がある。典型的な気圧、電気、または組合せ管理回路４０を、装置１１の取り付けフレーム上に可動要素と調和させて設けてもよい。